

神奈川の こくほ・かいご

2025
冬号
vol. 416

受けよう特定健診 健康づくりのスタートライン！



上山口の棚田

新年の
ごあいさつ

神奈川県国民健康保険団体連合会
理事長 内野 優
国民健康保険中央会
会長 大西 秀人

神奈川県国民健康保険団体連合会
<https://www.kanagawa-kokuho.or.jp>

2025 Happy New Year



神奈川県国民健康保険団体連合会
理事長 内野 優

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

理事長の海老名市長内野でございます。

令和7年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃から本会の事業運営に對しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年12月2日以降、新たな健康保険証の発行は廃止され、マイナ保険証を基本とする仕組みに移行しましたが、現行の健康保険証が最大1年間は使用可能であるほか、マイナ保険

証を保有しない方には、申請によらず、資格確認証が発行されることとなります。

本会といたしましては、国保制度の目的を達成するために必要な事業を行うという本会の設立目的を踏まえ、今後も国や保険者が進めるマイナ保険証の利用促進と円滑な利用に向けた取組について、保険者と連携し、資格確認証発行に伴う印刷業務の代行など必要な支援に努めてまいります。

なお、本会では毎年度の事業実施計画の他に、3年間の中期経営計画を策定し計画的な事業の推進を図っているところで、現行の第四次中期経営計画が今年度で期間満了となることから、令和7年度から令和9年度までの第五次中期経営計画の策定作業を進めているところで、第五次計画では、これまでの取組結果や連合会を取り巻く環境の変化などを踏まえた上で、新たに具体的な取組目標を示し、保険者をはじめとする関係者の皆様と共通認識のもとで事業を

進めていきたいと考えております。

具体的に診療報酬等の審査支払業務については、厚生労働省、支払基金、国保中央会が策定・公表した「審査支払機能に関する改革工程表」に基づく取組として、支払基金と医科・調剤レセプト突合点検の条件を合わせることで、これまでチェック対象としていなかったレセプトが突合点検の対象になることに伴い、大幅な処理件数の増加が見込まれますが、本会審査委員会と連携を図りながら効率的な事務処理に努めてまいります。

また、業務システム関連については、国保中央会が開発した全国標準システムである「介護保険・障害者総合支援関連システム」等の複数のシステムが、クラウドへの移行を伴うシステム更改を控えております。システム更改作業においては、遅滞なくデータ移行・切替作業を行うほか、更改後の安定稼働に向けた準備を的確に進めてまいります。

加えて、国が推奨する医療DXの実現に向けた「医療DXの推進に関する工程表」に基づく対応として、令和8年4月から予防接種事務全体がデジタル化されるとともに、予防接種記録・予診情報管理/請求支払システムの稼働が予定されておりますので、準備期間にあたる本年においては、県・市町村を含めた関係機関と緊密な連携を図り、委託契約の締結やシステム導入から運用まで円滑に行える体制の整備等を行ってまいります。

最後になりますが、このように新しい年においても多くの重要な課題に直面しておりますが、保険者の皆様と連携を図りながら本会としての役割を果たしてまいります。保険者の皆様方におかれましては、引き続き本会の事業運営につきまして、ご理解、ご協力を頂きますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

2025 Happy New Year



国民健康保険中央会
会長 大西 秀人

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

皆さまには日頃から国保中央会の運営に對しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、団塊の世代がすべて後期高齢者となる一方で、少子化は歯止めがかからず、生産年齢人口の減少が続いています。こうした人口構造の変化の影響等により、市町村国保の被保険者数も激減するなど、我が国の社会保障制度やその根幹を成す国

民健康保険事業を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。

このため、国においては、持続可能な社会保障制度の構築を目指した、全世代型社会保障改革が進められており、給付と負担の見直しや、デジタル技術の進展に対応したサービス提供体制の改革等の取組が行われているところです。

このような状況の中、本会においては本年、以下の四つの重要課題に取り組んでいくこととしています。

第一に、「審査支払機能に関する改革工程表」に基づき、審査支払業務改革、とりわけ二年目を迎える保守運用費の削減のための国保総合システムの最適化を着実に実施してまいります。

第二に、本年から来年にかけて更改を予定している介護保険審査支払等システム、後期高齢者医療請求支払システム、特定健診等データ管理システム等のクラウド化について、各システムの品質を確実に確保した上で、

円滑なシステム切替に向けて適切な対応を行ってまいります。

第三に、オンライン資格確認等システムの運用やこれを活用した様々な医療・介護DXの推進に関連する業務に取り組み、保険者の皆様の更なる業務の効率化やサービスの質の向上に寄与してまいります。

特に「全国医療情報プラットフォーム」の構築の取組の中で「介護情報基盤の構築」や「予防接種業務のデジタル化」等について、本会が中心となって積極的に進めてまいります。

また、昨年12月2日より、従来の保険証は新たに発行されなくなり、マイナンバーカードを活用したマイナ保険証を基本とする仕組みに移行したところであり、その円滑な実施に協力してまいります。

第四に、国保データベースシステムの改善・運用や国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の実施等、国保をはじめ関係者の皆様により効果的に事業を実施し、健康寿命の延伸につなげら

れるよう、国や関係機関との連携を図りながら、環境の整備に尽力してまいります。

このように新しい年においても多くの重要な課題に直面しておりますが、令和7年の干支である柔軟性と適応力を象徴し、再生と変化を意味する「乙巳（きのとみ）」にあやかり、努力を重ね続けながら課題に取り組み、成長と変革の年となるよう努めてまいります。

全国の国保連合会や全国知事会、全国市長会、全国町村会をはじめとする地方団体、国保組合、後期高齢者医療広域連合等の関係団体とも十分に連携を図りながら、保険者等の皆様の業務支援に総力をあげて取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となることを心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

令和7年 元旦

primagest+

デジタイゼーションで 人も組織も改革できる



超高速スキャナ
ImageValue 20P Series

文書のデジタル化と、

イメージを活用したデータ管理。

OCR・AI・RPA を組み合わせ、

BPR 実現に向けた

最適なソリューション・サービスをご提案いたします。

株式会社プリマジェスト ソリューションビジネス本部

〒212-0013

神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地 ソリッドスクエア東館 12F

TEL：044-578-5122

プリマジェスト

検索

・ も ・ く ・ じ ・

- 01 新年のごあいさつ
神奈川県国民健康保険団体連合会
理事長 内野 優
- 02 新年のごあいさつ
国民健康保険中央会
会 長 大西 秀人
- 05 保険者紹介コーナー
葉山町
「美しい海とみどりに 笑顔あふれる
こころ温かな ふるさと 葉山」
- 09 健康わがまち
茅ヶ崎市
「共に見守り支え合い、
誰もが健康に暮らすまちを目指して」
- 11 日本大通り発
神奈川県健康医療局保健医療部
医療保険課国保指導グループ
「令和5年度における国保事業会計収支
状況について」
- 14 こころとからだ
～健康のはなし～
『『うつ』に気づいたときの対処法は?』
西 大輔
- 15 こくほ随想
「英知を集める」
江利川 毅
- 17 国保直診だより
- 18 国保連発信
- 23 国保連日記帳
- 27 今後の予定／伝言板／編集後記

■表紙の説明 「上山口の棚田」

「にほんの里100選」に選ばれた棚田です。一時は存続の危機もありましたが、地元の農家とボランティアが協働で維持しています。収穫した米は、アイスや日本酒になります。



写真提供：葉山町

保 険 者

紹 介

コ ー ナ ー

葉山町

美しい海とみどりに 笑顔あふれる
こころ温かな ふるさと 葉山



葉山マーケット日曜朝市

葉山港（湘南漁業協同組合葉山支所前）で、毎週日曜日8時30分～10時30分、JA・漁協・商工会が共催する朝市です。

葉山産の野菜、魚介類、お惣菜やスイーツなど、葉山の特産品がそろっていて、町内外から多くの人を訪れます。朝市限定のスイーツは、朝市開始すぐに売り切れになることも。



葉山町 概 要

（令和6年10月1日現在）

人 口：31,931人
世帯数：14,588世帯
面 積：17.04km²
町の花：つつじ
町の鳥：うぐいす
町の木：くろまつ



■町の概要

葉山町は、令和7年1月に町制100周年を迎えました。美しい海とみどり深い山々など豊かな自然に恵まれ、古くから避暑避寒の地として知られ、多くの名士の別荘や居宅が設けられました。現在でも、御用邸の存在や美しい景観によって「静かで品のある落ち着いたまち」というイメージが定着しているまちです。

● 国 保 ●

■国保の概要と実施体制

当町の国保加入者数は減少傾向にあり、令和6年3月末現在で6725人（加入率20・6％）、加入世帯数は4301世帯（29・5％）となっています。

国保の特徴としては、高額所得被保険者が占める割合が高く、医療費水準が低いことが挙げられます。

町民健康課では、国民健康保険のほか、後期高齢者医療保険、国民年金、健康増進事業、戸籍、住民登録、マイナンバーカード交付事務、住民相談事業等を所管しています。

そのうち国保事務については職員6名と会計年度任用職員2名、特定健診や特定保健指導については保健師や管理栄養士が兼務で当たっています。

■保険財政の状況

令和6年度の国民健康保険特別会計は35億7093万円で、前年度から約1・9％の減となっています。要因としては、被保険者の減少が1人当たり医療費や事業費の伸びを超えていることが挙げられます。

コロナ禍において3か年料率を据え置いたことから、近年は基金取崩しを見込んだ予算編成となっており、財政状況は厳しくなっています。

一層の収納率向上に向けた取組み強化、基金の造成を図り、安定的な財政運営に努めていきます。

■特定健診・特定保健指導の状況

当町は特定健診受診率、特定保健指導終了率の向上に力を入れています。

特定健診受診率について、令和2年度においては新型コロナウイルス感染症の影響により、22・1％と前年度から6・3ポイント低下しましたが、その後増加傾向にあり、令和5年度の法定報告では31・9％となりました。受診率向上に向けた取組みとしては、特定健診未受診者に電話勧奨や、ハガキによる通知勧奨を実施しています。令和6年度においては、神奈川県が推進する「生活習慣病等にかかる未病の見える化から改善等の取組」において、TOPPAN株式会社との特定健診受診率向上実証実験を実施中です。この事業では、令和6年7月、10月に若年層（40～50代）の未受診者への受診勧奨ハガキの送付をしており、新規導入した健診のWEB申請についても周知しています。

また、健診の実施体制の工夫として、既存の集団健診会場である保健センターのほかに、令和5年度から新たな健診会場で健診を実施しています。また、過去に閉院した医療機関の場を活用し、同じ法人による出張型個別健診を実施してもらい、受診率の向上に努めています。

特定保健指導終了者率については、令和5年度の法定報告において、20・4％と神奈川県内市町村国保の終了者率平均12・0％を上回る数値となっています。終了率向上に向けた取組みとしては、令和6年度から、神奈



ヨット



森戸海岸を散歩しながら望む富士山

「長柄桜山古墳群」

逗子市と葉山町の行政界の山頂で平成11年に発見された、県内最大級の2基の前方後円墳です。全長は第1号墳が91.3m、第2号墳は88mで、いずれも古墳時代前期（4世紀後半）に造られました。

平成14年に国の史跡の指定を受け、葉山町と逗子市が協力して第1号墳の保存整備を進め、令和6年4月から供用開始しました。自然環境との調和を大切にしながら、来場者が古墳への理解を深められるよう、頂上への階段や木の棺の埋設場所表示、埴輪レプリカ、説明板等を設置しました。頂上からは相模湾、江ノ島、富士山を望むことができます。



第1号墳（写真は逗子市提供）

川県が主催する特定保健指導等オンラインシステム実証事業に参加し、遠隔による特定保健指導の導入に向け、ICT等の活用を通じた利用しやすい環境作りに努めているところです。

■今後の課題 収納率向上に向けて

令和5年度の収納率は、現年度分93・6%（前年度0・5%減）、滞納繰越分は30・4%（前年度2・8%増）でした。

口座振替をしていた被保険者が、75歳到達で後期高齢者医療制度へ、社保適用拡大で社会保険へ移行していく中、口座振替率が減少傾向にあります。コンビニ収納、キャッシュレス決済は導入しており、令和8年9月からのeLTAX納付書への対応準備を進めています。

また、令和7年度からは、国保保険料、後期保険料、介護保険料及び町税に係る債権を税務課に一元化するともに、生活支援型滞納相談を開始する予定で現在準備を進めています。

● 介護 ●

■介護保険の状況

当町の介護保険第1号被保険者数は、令和6年10月1日時点で1万90人となり、高齢化率は、31・4%となっております。

また、要介護（要支援者）認定者数は、2027人であるため、認定率は20・0%となっておりますが、要介護度別の構成割合をみると、全

国、神奈川県と比べて要支援者1・2、要介護1の軽度認定者の割合が高くなっており、比較的元気な高齢者が多いという特徴があります。

しかし、令和7年には団塊世代全てが75歳以上となり、団塊ジュニア世代全てが65歳以上となる令和22年には、高齢化率が42・7%になると見込まれます。要支援・要介護認定者は、75歳以上、特に80歳を超えたあたりから急増する傾向であり、今後ますます増加することが想定されます。

■介護予防事業の取り組み

当町では、健康づくりや介護予防事業に取り組み、地域の活性化と介護給付費の抑制等を目標にしております。

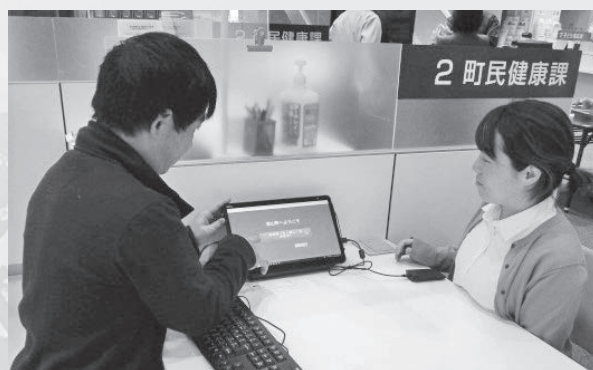
①貯筋運動の普及

貯筋運動は、東京大学・早稲田大学・鹿屋体育大学名誉教授であり、鹿屋体育大学の元学長でもある福永先生の考案した、誰でも簡単に覚えらる、自宅で自分ひとりでもできる、自立歩行に大切な下肢筋力を中心に鍛える運動として考案されたものです。

平成28年度から貯筋運動を取り入れ、令和6年度は町内28の自主団体で実施しています。年2回行われる下肢筋力の超音波測定では、多くの参加者が介護予防効果を実感しております。更なる効果を上げるために、担い手の発掘・育成を行い、実施団体の新設と既存団体の支援に努め、事業の普及・拡大を図ります。



貯筋運動の様子



書かない窓口（令和7年1月から）



葉山町制100周年PR大使
Myusy (ミューシー)
海の環境を守る活動を応援する
葉山生まれのアオウミウシです

② 外出支援のためのタクシー券

バスの定期券の購入費助成、心身機能の低下により自家用車や公共交通機関を利用するの買い物や病院への通院、入退院、施設への入退所が困難な人に対する無料送迎サービス等で、高齢者の外出支援を行っています。

令和6年度より、新たな取組みとして75歳～79歳の運転免許をお持ちでない方(運転免許自主返納者含む)または80歳以上の方にタクシー乗車1回につき500円の補助券を月2回分(年度内月数分)交付する「おでかけタクシー券」を始めました。当初から申込みが多く、令和6年11月18日時点で1588人の申込みがありました。

③ 認知症啓発

「認知症を正しく理解し、認知症を恐れず、認知症になっても安心して暮らせる葉山町」を目指しております。

しかしながら、第9期葉山町高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時に行った町民アンケートの結果によると、要介護認定が必要となる一因として、認知症(アルツハイマー病等)が挙げられており、認知症状態への対応を不安に感じる介護者が多いという結果も出ております。現在、葉山町の特性である地域活動を活かし、サロンや相談支援体制の一環で高齢者の見守りや訪問を行い、地域で認知症の方を支えている状態ですが、これからは町全体で認知症の方をサポートし、さらに住みよい葉山町を実現していくために、多世代向

けの認知症サポーター養成講座や講演会を実施していきます。

■ 今後の展開

高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも生きいきと安心して生涯を現役で過ごせるように、介護予防に関する取組みを一層推進していくための地域社会を形成し、支援していくことが必要ですが、介護予防事業に対する町民の認知度は十分でない状況にあります。

そのため、身近な場所で気軽に継続して「健康づくりや介護予防」に取り組める環境を整えるとともに周知をしていくことが必要です。また、高齢者自身の介護予防に関する知識の普及と意識のさらなる向上も必要となります。

さらには、地域の実情に応じ、住民、ボランティア、社会福祉協議会、その他の社会福祉法人等を含めた多様な担い手による柔軟な取組みにより、総合事業の効果的かつ効率的なサービスを提供できるよう体制整備を充実させることが重要です。



国保・介護 の 連絡先

● 葉山町ホームページアドレス
<https://www.town.hayama.lg.jp/>

● (国 保) 町民健康課
TEL: 046-876-1111(代)
FAX: 046-876-1717

● (介 護) 福祉課
TEL: 046-876-1111(代)
FAX: 046-876-1717



共に見守り支え合い、
誰もが健康に暮らす
まちを目指して

保険年金課
保健師 小泉 竜太



茅ヶ崎サザンC



ラチエン通りから見る「えぼし岩」

自然豊かでコンパクトな 住宅都市

本市は海、丘陵、川等、変化に富んだ地形があり、えぼし岩は地域のシンボルとして長く市民から愛されているなど、その豊かな自然と人々の営みが調和して存在しています。

市域は東西6・9 km、南北7・6 km、面積は35・76 km²で隣接する市町に比べて人口密度が高く、駅周辺に都市機能が集約したコンパクトなまちになっています。また、市街地の地形は平たんであり、徒歩や自転車で気軽にいろいろな場所へ訪れることができます。

昼夜間人口比率は近隣市町と比較すると低い水準となっており、住宅都市としての性格を持つとともに、地域内産業とのバランスが取れ、多世代にとって暮らしやすいまちづくりが進められています。

令和6年10月1日現在、人口は24万5419人、高齢化率は27・0%、国保加入者は4万3355人で、加入率は17・67%です。

特定健診受診率の向上を目指して

特定健診受診率向上対策事業として、平成25年度より、はがきや電話での受診勧奨を開始しました。令和5年度からは、受診勧奨はがきの送付対象者を40〜59歳だけでなく、74歳までに広げたほか、ナッジ理論を活用し、年代や受診歴に応じたわかりやすい内容としています。また、電話勧奨については、直営から委託に変更し、より多くの方に勧奨できるようにになりました。

継続受診対策として、健診受診者には、経年的な健診結果や生活習慣改善のためのアドバイスに記載した健康アドバイスシートを送付しています。令和5年度からは、さらなる継続受診の必要性の周知や、被保険者の健康づくり促進のために、新たに特定健診結果説明会を開催しています。

特定健診の受診券申込み（受診料免除や再交付）については、これまで電話または窓口受付としていましたが、より受診しやすくするために令和4年度から電子申請を導入しました。電子申請では、がん検診担当

課と連携し、特定健診だけでなく、がん検診等の受診券申込みも同時に行えるようにしています。



特定健診結果説明会
（講演）



特定健診結果説明会
（測定、相談）

特定保健指導終了率の向上を目指して

特定保健指導終了率向上対策事業として、集団保健指導を導入しています。積極的支援対象者は対面での

指導だけでなく、希望に応じて電話やメール、Zoomでの指導を併用した個別指導、動機づけ支援対象者は、医療機関での個別指導も選択可能となっています。

令和3年度からは、翌年度の4〜5月にも集団保健指導日を設けて利用機会を広げています。また、集団保健指導では、初回指導の約1か月半後に参加者へ電話し、取組状況の確認や励ましを行うことで、参加者が脱落せず、取組を継続できるよう支援を行っています。

文書での利用勧奨について、令和2年度は中止していましたが、令和3年度以降再開しており、より効果的なタイミングを検討した結果、通知の約1か月後に再通知を送付するようになりました。さらに通知内容については、経年的な健診結果や参加者の声を掲載することで、対象者が自身の保健指導の必要性等を理解し、利用したくなるような内容としています。

電話勧奨については、通知や再通知から約1〜2週間以内に管理栄養士等の専門職が電話することで、対象者が保健指導に対する関心が高い間に、保健指導を利用するメリット

等を個別性に応じて説明しています。また、医師会や実施医療機関とは、保健指導の現状と課題、目標値等について毎年共有することで、連携を図っています。

これからに向けて

これまでの取組の結果もあり、特定健診受診率、特定保健指導終了率とも、徐々に上昇していますが、これからもさらなる向上が必要な状況です。第3期データヘルス計画においても、受診・利用勧奨の強化を重点的な取組としています。

特定健診受診勧奨においては、未受診者の特性（検査結果や受診歴、かかりつけ医の有無等）をより詳細に分析の上、それに合わせた受診勧奨に取り組みます。また、特に受診率の低い40歳代に対する勧奨も強化していく予定です。特定保健指導利用勧奨においては、実施医療機関からも勧奨しやすい体制の整備やサポートを行っていくなど、引き続き医師会や実施医療機関との連携体制を築いていきたいと思っています。



令和5年度における国保事業会計収支状況について

神奈川県健康医療局保健医療部医療保険課

国民健康保険（以下「国保」という。）制度は、被用者保険に加入する者等を除く全ての者を被保険者とする公的医療保険制度であり、国民皆保険の最後の砦として地域住民の健康増進に長年寄与していますが、他の医療保険制度と比較して高齢者や低所得者の加入割合が高く、財政基盤が脆弱であるという構造的な問題を抱えています。

こうした財政上の構造的な問題の解決に向け、国保制度改革が行われ、3400億円の公費が投入されるとともに、市町村国保の財政運営の責任主体を都道府県が担うことになり、県に、新たに「神奈川県国民健康保険事業会計」を特別会計として設置しました。

令和5年度は平成30年度の国保制度改革から6年目となりますが、5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが感染症法上の「5類感染症」へ移行するとともに、団塊の世代の後期高齢者医療制度への移行等により被保険者数が減少したことで、保険給付費は前年度に比べ減少した一方、1人当たり保険給付費が増加していることから、依然として難しい財政運営となりました。

以下、収支状況の概要と今後の財政運営の課題について、令和6年11月段階で取りまとめた令和5年度の国民健康保険事業報告書B表をもとに、市町村、国保組合、県それぞれについて見ていくこととします。なお表示している数字は、一千万円未満を切り捨てた数字であり、概数であることをあらかじめご承知ください。

1 市町村の国民健康保険特別会計

市町村全体で、歳入8411・4億円、歳出8268・0億円となり、収支は143億円の黒字となりました。令和4年度と比べると、歳入は4・5億円（0・05%）減少、歳出は67・4億円（0・82%）増加し、収支は62・8億円（30・48%）の黒字幅の減少となり、単年度収支では126・2億円の赤字と33市町村中31市町村が赤字となっています。

また、決算補填等目的の法定外の一般会計繰入金を除いた収支は、61・8億円の黒字となっています。歳入においては、被保険者数が年度間平均で160・1万人と令和4年度に比べ8・4万人（5・02%）減少したことによって、保険給付費も減少し、これに伴って県から交付している普通交付金が66・1億円（1・21%）減少しました。そして、令和6年1月から産前産後期間の保険料免除制度が施行されたことも含め、一般会計からの繰入金が39・9億円（5・57%）増加したことや、繰越金が2・2億円（1・12%）増加したことによって、全体としては4・5億円（0・05%）の増加となっています。

なお、一般会計からの繰入金のうち、法定外の一般会計繰入金は、199・0億円と令和4年度に比べ21・5億円（12・12％）増加していますが、この法定外の一般会計繰入金のうち、決算補填等目的の法定外繰入は81・4億円と18・6億円（29・78％）増加しています。

一方で、歳出においては、被保険者数の減少によって、保険給付費が5440・0億円と前年度から61・5億円（1・12％）の減少となりましたが、国保事業費納付金が123・6億円増加（5・06％）したこと等によって、全体としては67・4億円（0・82％）の増加となっています。

このように、被保険者数の減少に伴って保険給付費は減少していますが、被保険者数が5％減少している一方で、保険給付費は1％の減少に留まっています。これは、1人当たり保険給付費が増加していることが原因です。

1人当たり保険給付費の増加傾向は、今後も継続すると思われる、1人当たり国保事業費納付金の増加により、依然として市町村の国保財政は厳しい状況におかれることとなります。

平成30年度の国保制度改革に伴う激変緩和に係る国からの財政支援が

【令和5年度県内市町村全体の国保特別会計の収支状況等】

（単位：円）

区分	令和5年度 ①	令和4年度 ②	前年度比較	
			①－②	①／②
歳入	841,146,686,175	840,687,751,504	458,934,671	0.1%
歳出	826,808,371,378	820,061,746,002	6,746,625,376	0.8%
歳入－歳出 A	14,338,314,797	20,626,005,502	▲6,287,690,705	▲30.5%
決算補填等目的の法定外繰入金 B	8,149,666,921	6,279,726,747	1,869,940,174	29.8%
A－B	6,188,647,876	14,346,278,755	▲8,157,630,879	▲56.9%
被保険者数	1,601,794	1,686,493	▲84,699	▲5.0%

【保険者努力支援制度交付金の交付決定額・順位】

		令和5年度	令和6年度	令和7年度（仮係数）
取組評価分	都道府県分	28.4億円 (44位)	25.8億円 (43位)	46.1億円（+20.3億円） (21位)
	市町村分	32.7億円 (44位)	34.6億円 (43位)	24.8億円（-9.8億円） (-位)
	小 計	61.1億円	60.4億円	70.9億円（+10.5億円）
事業費連動分	事業費連動分	23.4億円 (15位)	12.3億円 (4位)	令和7年12月頃 内示予定
	事業費分	都道府県分	1.4億円	
		市町村分	3.9億円	
	小 計	28.7億円	18.4億円	
	合 計	90.1億円	79.5億円	

【都道府県分】

市町村の取組関係が
(R6)15.2%→(R7)26.9%に増加
個人へのわかりやすい情報提供にマイナ保険証関
連のアウトカム評価が追加となった。

特に得点の低い項目	配点	得点
特定健診等受診率（R4）	20点	▲4点
新規透析導入患者数	20点	0点
個人への情報提供（マイナ関連）	30点	0点
法定外繰入	30点	▲30点
医療提供体制適正化の推進	20点	5点

【市町村分】

固有の指標の新規追加などもあり、市町村のアウト
プット評価は下落したものの、アウトカム評価
については上昇した。

影響の大きい項目	配点	得点
特定健診等実施率	125点	4.5点
後発医薬品使用割合	120点	49.6点
保険料収納率	100点	17.2点
法定外繰入	50点	27.4点

【保険者努力支援制度交付金（取組評価分）の得点の内訳】

区分	評価内容	配点	構成	得点	得点率	昨年度得点率
都道府県分	市町村の取組	320	56%	86	26.9%	15.2%
	県の取組	252	44%	182	72.2%	67.8%
	合 計	572	—	268	46.8%	32.3%
市町村分	アウトプット評価	426	43%	304.4	71.5%	84.3%
	アウトカム評価	562	57%	129.4	23.0%	20.1%
	合 計	988	—	433.8	43.9%	46.5%

令和5年度で終了になるとともに、令和5年度末に改正した国保運営方針に基づき、保険料水準の統一に向けて、激変緩和措置を行いながら、まずは納付金ベースの統一から段階的に進めていくこととなりますので、特に、年齢調整後の医療費水準が低い市町村を中心に、国保事業費納付金の増への対応が求められるところです。

各市町村におかれましては、歳入確保対策として、保険料賦課の適正化と保険料（税）収納率向上対策の充実に努めていただくとともに、公費である保険者努力支援制度交付金の獲得額増に向け、歳出抑制対策につながる保健事業や医療費適正化対策の強化に努めていただきますようお願いいたします。

特に、保険料水準の統一に向けて、収納率が低い、あるいは医療費水準が高い市町村における取組みの一層の強化が求められるため、具体的な対策を講じられますようよろしくお願いいたします。

2 国民健康保険組合の会計

国保組合の財政規模は、歳入で505・3億円、歳出で447・1億円、収支は58・2億円の黒字となりました。令和4年度に比べ、歳入では7・4億円（1・49%）増加、歳出で11・9億円（2・76%）増加となり、結果として収支で見ると4・5億円（7・28%）の黒字幅の減少となっています。

歳入では、被保険者数が年度間平均で13・0万人と令和4年度に比べ522人（0・40%）減少した一方で、保険料収入が263・2億円と7・9億円（3・10%）の増加となりました。

加えて、療養給付費等負担金が156・1億円と2・3億円（1・53%）増加し、国庫支出金が161・0億円と2・8億円（1・82%）の増加となりました。

歳出では、保険給付費は239・3億円と1・2億円（0・50%）減少しましたが、前期高齢者納付金は38・0億円と5・9億円（18・61%）の増加、後期高齢者支援金は84・5億円と6・2億円（8・01%）の増加となりました。

組合員数の減少、定率国庫負担の

段階的削減など、国保組合をとりまく状況は厳しい状況にあります。保険料の適正賦課をはじめ医療費適正化対策の充実強化など、国庫補助金の獲得も図りながら安定した財政運営の確立に向けた取組みが求められています。

3 神奈川県 国民健康保険事業会計

平成30年度に創設された神奈川県国民健康保険事業会計は、歳入総額7178・2億円、歳出総額7103・1億円であり、収支では75・0億円の黒字となりました。

当初予算との対比で見ると、歳入では、療養給付費等負担金が1403・4億円と39・1億円（2・71%）の減少、普通調整交付金が258・1億円と23・5億円（10・02%）の増加となり、歳出では、市町村の保険給付費に対する県の負担金である普通交付金が5397・0億円と91・1億円（1・66%）の減少となりました。こうした増減要素の結果、当初予算に対する歳入総額が1・8億円の増加、歳出総額が73・2億円の減少となり、これにより75・0億円の黒字が生じました。

なお、決算剰余額の75・0億円は、

令和6年度の普通交付金や過年度の療養給付費等負担金等の精算のための財源に充てるほか、財政安定化基金（財政調整事業分）に積み立てる予定となっています。

令和5年度の県国保事業会計は黒字となりましたが、今後の保険給付費等の伸び、被保険者数の減少、保険者努力支援制度や財政調整交付金など拡充された国公費の獲得状況等、より一層厳しい財政運営が予想されます。

つきましては、今後とも国保財政運営については、市町村の皆さんと国保協議会の場を通じ、協議してまいりますので、よろしく申し上げます。





「うつ」に気づいたときの対処法は？

東京大学大学院医学系研究科 精神保健学分野 教授 西 大輔

「うつ」や「うつ病」に自分自身で気づいたり、家族や職場の同僚など近くにいる方が気づくことはとても大事です。心配な時にはまず、疲れたところと体を十分に休めます。医学的な治療が必要な場合には、医師による診察の後に必要に応じて適切な治療法を選択し、十分時間をかけて治療することが大事です。

「うつ」はこころと体のSOS

「うつ」は、こころのガソリンが切れたりオイルが汚れたりして元気がなくなった自動車のような状態です。そのような状態のまま走らせていたら、車は壊れてしまいます。「うつ」も同じです。脳がSOSをだしていたら、きちんと休養をとって適切な点検工場で調整することが大切

です。そのため「うつ」に自分自身で気づいたり、家族や職場の同僚など近くにいる方が気づくことはとても大事です。

いままで漠然と「うつ」と説明してききましたが、もっと狭い範囲で「うつ病」を考えてみます。会社員のAさんは、これまで大好きだったゴルフが楽しくなくなりました。主婦のBさんは元気がなくなり、得意だったお菓子づくりをする気にもならなくなりました。気分がふさがちになり、これまで楽しめていたことに関心が薄れて意欲が低下していくことは、うつ病の特徴的な症状のひとつです。

うつ病の発症には、はっきりした原因があるとはかぎりません。またうつ病では「こころの症状」が目立

たず、「体の症状」ばかりが目立つ場合も少なくありません。ですから自分が「うつ病」だと気づかず、内科などを受診されることも少なくありません。

「うつ」かな？と思ったら

「うつ」でやる気がでないのは、こころが弱かったり甘えているためではありません。ご自身やご家族が「うつ」あるいは「うつ病」かなと心配な場合にはまず、疲れたところと体を十分に休めるようにします。家族や仕事・学校といった療養環境の調整がとても大切です。十分な休養をとることで、必要に応じて適切な治療を受けることが症状の緩和につながります。治療が必要な場合には必ず医師による診察を受け、十分

に時間をかけて療養することが重要です。

薬を飲むことを「甘えていること」と考えたり、本来だったら薬などに頼らずに「自分で治すべきもの」と考えて、治療を受けることに抵抗を感じる方もいらっしゃいます。服薬を始めてから自覚症状が緩和されるまでには数週間かかることがわかっていますので、すぐに効果がでないからといって不安になる必要はありません。また薬の効き方や副作用のやさしさには個人差がありますので、遠慮なく医師と相談してください。ふさわしい対処法を明示していただけると思います。

e-ヘルスネット

<https://www.e-healthnet.nhlw.go.jp/information/heart/k-04-001.html>

厚生労働省(2020)

英知を集める

公益財団法人医療科学研究所相談役 江利川 毅

田園都市構想は

北斗七星のようなもの

世の中は進歩・発展して、生活は豊かになっていくはずなのに、国際的にも国内的にも様々な課題が増大・深刻化していて、我が国が幸福な方向に進んでいるという明るい確信が持てない。なぜだろうか。私は、直面している様々な課題に対して、国民の英知を結集して総合的に対応を考えることができるのではないかと思っている。

先例として思い浮かべるのは、大平正芳総理大臣の「田園都市構想」を肉付けした9つの政策研究会の取りまとめや、土光敏夫経団連名誉会長を会長とする臨時行政調査会の提言である。

田園都市構想は、その言葉だけでは内容をつかみにくい。今でもよく覚えているのだが、NHKの『総理に聞く』という番組で、司会者の質問に対し、大平総理はこう答えた。「田園都市構想は北斗七星のようなもの。昔、船乗りは、夜、北斗七星から北極星を探し、その高さや方向から自分の船の位置を知り、帰る方向を探し出した。田園都市構想は、各地方自治体にとって道標みたいなもの。田園都市構想という道標を参考としながら、各自治体がその地方の良さを生かして独自に地域づくりを進めていく」とも博識で、謙虚さと強い信念をお持ちの総理だと思った。

この構想をまとめるために、学

者、文化人、経済人、若手官僚、合わせて200人以上の人材を集めて、正に日本の英知を集めるような形で、9つの政策研究会で多角的に構想を煮詰めた。残念ながら、報告書がまとまる前に大平総理は急逝してしまったが、その報告書の内容はその後の国家運営に影響を与えている。

土光臨調は、「増税なき財政再建」「活力ある福祉社会の建設」を掲げて、90人を超える有識者を集めて、全省庁の出身者からなる事務局を置いて、信念を貫き通す土光会長の下で、2年間にわたって5つの答申をまとめ、行財政改革を提言した。中曽根康弘総理大臣の下で、国鉄をはじめとする三公社の民営化、様々な制度改革（医

療保険制度、年金制度の改革も含む）などが実現した。

この二つの改革を見て思うのは、いずれも国家を挙げて、国民の英知を結集していることである。多様な人材が議論を尽くして、最善の解を求めている。

謙虚に英知を集める

中央省庁再編は、霞ヶ関の大きな改革であった。総理大臣のリーダーシップを支える体制を強化するため内閣府が新設された。経済財政諮問会議などの場で総理大臣の面前で重要政策が議論され、総理大臣は多様な意見を踏まえつつ決断をすることができるようになった。大きな改善点である。

ただ、政府部内に長期計画を議論する場がなくなったことは大きな問題だと思っている。かつて、経済企画庁や国土庁が事務局となつて長期計画を策定していた。数年も経つと計画と実際とに乖離が生じ、計画策定にどういう意味があるのか、私も疑問に思っていたことがある。しかし、計画策定の議論を通じて、多くのオピニオ

ンリーダーが我が国の基礎データを共有する、そのことの意味が大きいのである。現状についての基礎認識を共有していれば、意見は異なっても、議論は噛み合うのである。

国政は常に多事多難であり、課題は年々大きくなっている。素早く対応していくために官邸主導が強調され、内閣官房や内閣府に、課題ごとに体制が設けられている。そこに各省庁の職員が外向して、対応している。

課題ごとの検討・対応も大事ではあるが、私は、日本の課題を一括して捉えて総合的に対策を進めていくような、日本の英知を結集した総合政策ビジョンが必要なのではないかと思う。その策定の場を通じて、我が国のオピニオンリーダーたちが共通の基礎認識を持ち、建設的で多様な意見を出し合う。そのような場を作り、謙虚に英知を集めることを工夫していただきたいものである。

記事提供 社会保険出版社



江利川 毅 えりかわ たけし

■プロフィール

出身地 埼玉県

- ・公益財団法人医療科学研究所 相談役
- ・元内閣府事務次官
- ・元厚生労働事務次官
- ・元人事院総裁

■学歴

1970年4月 東京大学法学部卒業

■職歴

- 1970年4月 厚生省入省
- 1982年4月 厚生省大臣官房総務課長補佐
- 1985年8月 内閣官房内閣参事官
- 1988年6月 厚生省年金局資金運用課長
- 1990年6月 厚生省年金局年金課長
- 1991年7月 厚生省薬務局経済課長
- 1993年6月 厚生省保険局企画課長
- 1994年9月 厚生省大臣官房政策課長
- 1996年7月 厚生省大臣官房審議官（年金担当）
- 1996年12月 厚生省大臣官房審議官（老人保健福祉担当）
- 高齢者介護対策本部事務局長
- 内閣官房首席内閣参事官
- 2001年1月 内閣府大臣官房長
- 2004年7月 内閣府事務次官（2006年7月退官）
- 2007年4月 日興フィナンシャル・インテリジェンス顧問（7月、理事長）
- 2007年8月 厚生労働事務次官（2009年7月退官）
- 2009年10月 埼玉医科大学特任教授
- 2009年11月 人事院総裁（2012年4月任期満了退官）
- 2012年5月 公益財団法人 医療科学研究所 理事長（2024年5月退任）
- 2013年4月 埼玉医科大学特任教授（現職）
- 2014年4月 公立大学法人埼玉県立大学理事長（2018年3月任期満了退任）

第64回全国国保地域医療学会

10月4日(金)、5日(土) 岩手県「アイーナ」

地域包括医療・ケアで地域の「絆」をより強く ～地域医療学会発祥の地「イーハトーブ」から未来へ発信～

10月4日、5日の2日間にわたり、第64回全国国保地域医療学会が、岩手県「いわて県民情報交流センター アイーナ」において開催された。

今回のメインテーマ『地域包括医療・ケアで地域の「絆」をより強く～地域医療学会発祥の地「イーハトーブ」から未来へ発信～』のもと、国保直診の発展・充実のため特別講演・国保直診開設者サミット・シンポジウムなどが行われた。



【1日目】

特別講演		
演 題	国保地域医療学会の礎 ～岩手県地域医療研究会の歩み	
講 師	佐藤 元美	岩手県一関市病院事業管理者 前岩手県地域医療研究会会長
司 会 者	磯崎 一太	第64回全国国保地域医療学会学会長 岩手県地域医療研究会会長 岩手県洋野町国民健康保険種市病院院長
特別発言者	小野 剛	全国国民健康保険診療施設協議会会長 秋田県秋田市立大森病院院長
国保直診開設者サミット		
演 題	生涯を住み慣れた地域で過ごすために ～自治体と国保直診で構築する地域包括ケア体制～	
司 会 者	岩田 利雄	全国国民健康保険診療施設協議会開設者委員会副委員長 千葉県東庄町町長
	中村 伸一	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 福井県おおい町国保名田庄診療所所長
助 言 者	唐木 啓介	厚生労働省保険局国民健康保険課課長
発 言 者	鈴木 重男	岩手県葛巻町町長 岩手県国民健康保険団体連合会副理事長 岩手県国保診療施設運営連絡協議会幹事長
	内記 和彦	岩手県西和賀町町長
	小澤 幸弘	神奈川県三浦市立病院総病院院長
	宇佐美哲郎	大阪府能勢町国民健康保険診療所長
特別発言者	原 勝則	国民健康保険中央会理事長

【2日目】

シンポジウム		
演 題	高齢・人口減社会における過疎地での地域包括ケア体制のあり方 ～国保直診に求められる役割とデジタル化の推進～	
司会者	大原 昌樹	全国国民健康保険診療施設協議会副会長 香川県綾川町国民健康保険陶病院院長
	磯崎 一太	第64回全国国保地域医療学会学会長 岩手県地域医療研究会会長 岩手県洋野町国民健康保険種市病院院長
助言者	松本 晴樹	厚生労働省医政局 地域医療計画課医療安全推進・医務指導室室長
発言者	望月 泉	全国自治体病院協議会会長 岩手県八幡平市病院事業管理者 岩手県八幡平市立病院統括院長 岩手県八幡平市立山診療所所長
	須田 万勢	長野県諏訪中央病院リウマチ・膠原病内科医長
	多田 明良	和歌山県紀美野町立国保国吉・長谷毛原診療所所長
特別発言者	松田 晋哉	産業医科大学医学部公衆衛生学教授

【神奈川県からの研究発表】

テーマ	発表者	
デイパートナーナースングシステム方式導入に伴う看護師の仕事に対する意識の変化	小田原市立病院	居山伊久子
理学療法士のレジデント制度がリハビリテーション科職員の労働衛生とリハビリテーション提供体制に与える影響	小田原市立病院	小澤 哲也
AlignRT（体表面監視装置）を用いた左乳房DIBHについて	茅ヶ崎市立病院	佐藤 慎也
保険者へ向けた国保データベース（KDB）システム活用支援の取り組み～少人数制による実機研修の実績報告より～	神奈川県国保連合会	青木 雅人

※第65回全国国保地域医療学会は、令和7年10月3日～4日 和歌山城ホール（和歌山県）にて開催予定

国保制度改善強化全国大会

11月15日(金) 砂防会館



東京・砂防会館にて、全国の国民健康保険関係9団体主催のもと、「国保制度改善強化全国大会」が開催され、全国から市町村長、都道府県を含む国民健康保険関係者が集結した。

はじめに、全国知事会事務総長の中島正信氏が開会の辞を述べた。

次に、主催者代表として国保中央会会長の大西秀人氏が挨拶に立ち、国に対し、新国保制度を安定的に運営するための大前提である毎年度3,400億円の公費投入の確実な実施などを強く要望した。

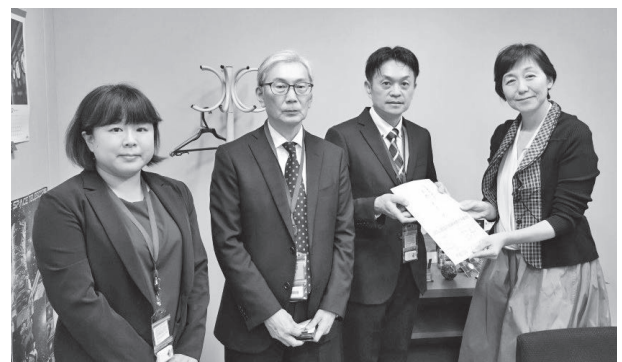
政府からの来賓挨拶の後、議事に移り、福島県二本松市長の三保恵一氏が子ども・子育て支援金制度については、国民の理解が十分得られるよう、国の責任において分かりやすく丁寧な周知、広報等を行うとともに、制度導入に伴うシステム改修費等の必要な経費について財政的支援を確実に講じることなど12項目の決議案を読み上げ、満場一致で採決された。

最後に、広島県安芸太田町議会議長の中本正廣氏が閉会の辞を述べ、大会は閉幕した。

大会終了後には、神奈川県国保保険者として、大会にて採決された決議の実現に向け、3班に分かれ、衆議院第一議員会館、衆議院第二議員会館、参議院議員会館へ向かい、神奈川県選出の国会議員を中心に陳情を行った。参議院議員会館では牧山ひろえ議員、水野素子議員にお会いすることができ、神奈川県建設連合国保組合の坂間事務局長より陳情書を手渡した。



参議院議員 牧山ひろえ氏(中央右)



参議院議員 水野素子氏(右)

国民健康保険事業への多年にわたる貢献を称え、本県では次の方々が表彰されました。
表彰者の皆さま、おめでとうございます。

令和 6 年度国民健康保険関係功績者 厚生労働大臣表彰

川 村 典 夫 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
高 塚 秀 男 神奈川県国民健康保険団体連合会審査部審査第三課調剤係副係長

令和 6 年度神奈川県国民健康保険事業功労者表彰

中 川 辰 郎 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
佃 和 彦 神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
小笠原 恭 子 神奈川県国民健康保険団体連合会事務局次長兼審査部長

令和 6 年度国民健康保険中央会表彰

梅 田 健 神奈川県横浜市健康福祉局医療援助課課長補佐
飯 田 順 子 神奈川県横浜市鶴見区福祉保健センター保険年金課会計年度任用職員
池 田 佳 世 神奈川県横浜市神奈川区福祉保健センター保険年金課事務職員
山 城 文 雄 神奈川県横浜市神奈川区福祉保健センター保険年金課事務職員
野 谷 淳 一 神奈川県横浜市南区福祉保健センター保険年金課事務職員
沢 邊 瞳 神奈川県横浜市港北区福祉保健センター保険年金課会計年度任用職員
栄 聡一郎 神奈川県横浜市戸塚区福祉保健センター保険年金課専任職（保険業務担当）
横 田 美貴子 神奈川県横浜市泉区福祉保健センター保険年金課会計年度任用職員
青 木 一 広 神奈川県後期高齢者医療広域連合事務局長
海老塚 孝 之 神奈川県川崎市高津区役所区民サービス部保険年金課課長補佐
秦 野 歩 神奈川県平塚市民病院看護科長代理兼看護師長
佐 藤 恵 美 神奈川県小田原市立病院看護部上級看護師
一寸木 智永美 神奈川県小田原市立病院看護部上級看護師
斉 藤 安 司 神奈川県茅ヶ崎市立病院中央診療部放射線科技師長
山 谷 佳世子 神奈川県茅ヶ崎市立病院中央診療部リハビリテーション科技師長
佐 藤 京 子 神奈川県茅ヶ崎市立病院看護師副主査
櫻 井 秀 徳 神奈川県医師国民健康保険組合副主幹

令和 6 年度国民健康保険中央会表彰

美濃口 亜紀子	神奈川県薬剤師国民健康保険組合主任
川 畑 進 一	神奈川県建設業国民健康保険組合事務局次長兼総務係長兼業務係長
福 澤 邦 康	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
黒 田 理 佐	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
井 関 雅 一	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
小 池 健	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
加 藤 圭	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
中 西 一 浩	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
坂 田 勝 巳	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
大 塚 史 子	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
今 井 信 介	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
永 野 芳 郎	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
小 林 直 之	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
小田原 俊 成	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
工 藤 誠	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
工藤 十右衛門	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
向 原 茂 雄	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
三 松 謙 司	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員
常 盤 聡 史	神奈川県国民健康保険団体連合会介護福祉部福祉事業課障害者支援係副主幹
武 田 邦 雄	神奈川県国民健康保険団体連合会審査部審査第四課柔整係長
服 部 和 之	神奈川県国民健康保険団体連合会介護福祉部介護保険課介護管理係副主幹
平 野 功	神奈川県国民健康保険団体連合会総務部財務課財務第一係長
今 井 大 祐	神奈川県国民健康保険団体連合会審査部審査第二課第三係副主幹
辻 絵里子	神奈川県国民健康保険団体連合会企画事業部保健事業課特定健診係副主幹
引 田 大 策	神奈川県国民健康保険団体連合会介護福祉部介護保険課介護管理係長
須 山 聖	神奈川県国民健康保険団体連合会企画事業部保健事業課保健事業係長
遠 藤 拓 也	神奈川県国民健康保険団体連合会情報管理部システム管理課情報管理係長

(順不同敬称略)

診療（調剤）報酬実績【国民健康保険】

《8月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1件当たり費用額 円	1人当たり費用額 円	受診率 %
1,667,635	診療費	入 院	27,805	18,689,246,930	672,154	11,207	1.67
		入院外	1,132,785	18,413,971,560	16,255	11,042	67.93
		歯 科	273,967	3,599,802,510	13,140	2,159	16.43
	小 計	1,434,557	2,481,990	40,703,021,000	28,373	24,408	86.02
	調 剤	847,492	980,269	10,190,788,590	12,025	6,111	
	訪 問 看 護	10,408	76,835	941,886,210	90,496	565	
	食事療養費	26,434	1,072,102	741,948,641	28,068	445	
	合 計	2,292,457	2,558,825	52,577,644,441	22,935	31,528	

《9月診療分》（一般+退職）

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1件当たり費用額 円	1人当たり費用額 円	受診率 %
1,659,356	診療費	入 院	26,541	17,612,180,580	663,584	10,614	1.60
		入院外	1,168,902	18,587,871,390	15,902	11,202	70.44
		歯 科	290,427	3,910,745,680	13,466	2,357	17.50
	小 計	1,485,870	2,559,373	40,110,797,650	26,995	24,173	89.54
	調 剤	864,676	996,327	10,118,452,760	11,702	6,098	
	訪 問 看 護	10,526	76,002	934,436,980	88,774	563	
	食事療養費	25,191	1,022,756	707,662,990	28,092	426	
	合 計	2,361,072	2,635,375	51,871,350,380	21,969	31,260	

《10月診療分》（一般+退職）

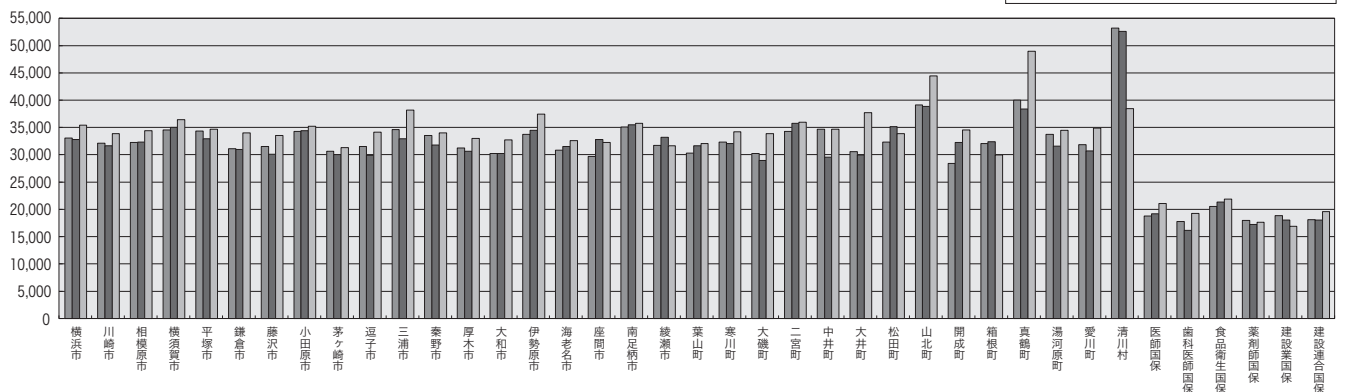
被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1件当たり費用額 円	1人当たり費用額 円	受診率 %
1,652,141	診療費	入 院	27,648	18,785,668,280	679,458	11,370	1.67
		入院外	1,225,612	19,954,630,550	16,281	12,078	74.18
		歯 科	302,625	4,162,608,370	13,755	2,520	18.32
	小 計	1,555,885	2,742,276	42,902,907,200	27,575	25,968	94.17
	調 剤	912,535	1,076,730	10,745,633,650	11,776	6,504	
	訪 問 看 護	10,451	79,988	944,438,320	90,368	572	
	食事療養費	26,237	1,046,190	724,180,280	27,601	438	
	合 計	2,478,871	2,822,264	55,317,159,450	22,315	33,482	

※件数の合計に食事療養費は含まない ※日数の合計に調剤・食事療養費は含まない

【保険者別1人当たり費用額（一般+退職）】 ※1人当たり費用額とは、医療費用総額を被保険者数で除したものである。

1人当たり費用額（円）

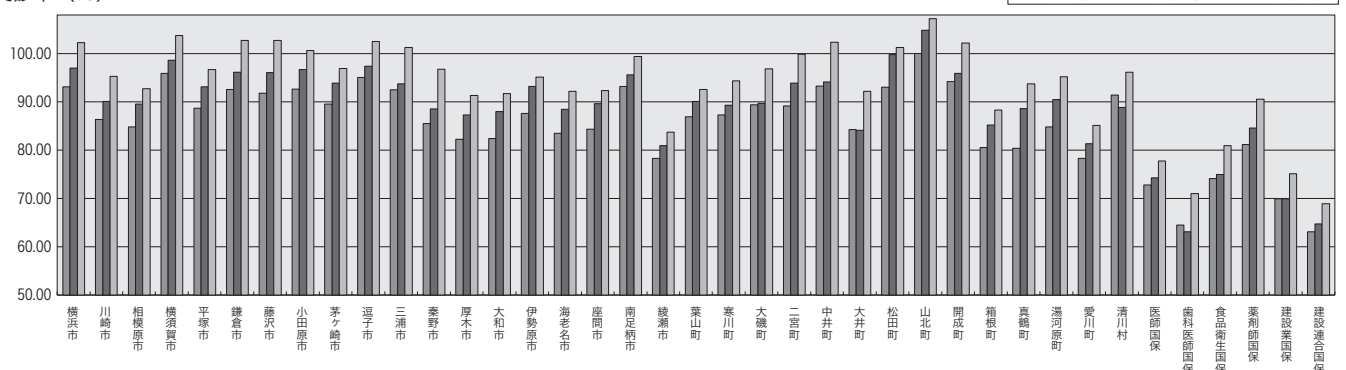
■ 8月診療分 ■ 9月診療分 ■ 10月診療分



【保険者別受診率（一般+退職）】 ※受診率とは、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表し、当該月の診療報酬明細書（レセプト）枚数を当該月末の被保険者数で除したものである。

受診率（％）

■ 8月診療分 ■ 9月診療分 ■ 10月診療分



診療（調剤）報酬実績【後期高齢者医療】

《8月診療分》

被保険者数 人	区 分	件 数 件	日 数 日	費 用 額 円	1件当たり費用額 円	1人当たり費用額 円	受診率 %	
1,323,463	診療費	入 院	64,467	1,011,015	43,776,297,890	679,050	33,077	4.87
		入院外	1,643,659	2,593,295	29,536,454,580	17,970	22,318	124.19
		歯 科	310,328	495,482	4,192,728,460	13,511	3,168	23.45
	小 計	2,018,454	4,099,792	77,505,480,930	38,398	58,563	152.51	
	調 剤	1,289,691	1,573,943	15,709,708,410	12,181	11,870		
	訪 問 看 護	11,409	116,717	1,656,016,555	145,150	1,251		
	食事療養費	60,552	2,425,575	1,718,917,628	28,387	1,299		
	合 計	3,319,554	4,216,509	96,590,123,523	29,097	72,983		

《9月診療分》

被保険者数	区 分	件 数	日 数	費 用 額	1件当たり費用額	1人当たり費用額	受診率	
人		件	日	円	円	円	%	
1,327,896	診療費	入 院	62,403	964,698	41,724,014,910	668,622	31,421	4.70
		入院外	1,715,594	2,727,433	30,099,033,880	17,544	22,667	129.20
		歯 科	337,876	552,932	4,721,882,640	13,975	3,556	25.44
	小 計	2,115,873	4,245,063	76,544,931,430	36,177	57,644	159.34	
	調 剤	1,323,895	1,602,482	16,679,998,120	12,599	12,561		
	訪 問 看 護	11,381	114,592	1,630,831,010	143,294	1,228		
	食事療養費	58,287	2,314,070	1,640,774,161	28,150	1,236		
	合 計	3,451,149	4,359,655	96,496,534,721	27,961	72,669		

《10月診療分》

被保険者数	区 分	件 数	日 数	費 用 額	1件当たり費用額	1人当たり費用額	受診率	
人		件	日	円	円	円	%	
1,332,065	診療費	入 院	65,202	996,949	44,324,769,730	679,807	33,275	4.89
		入院外	1,787,489	2,938,274	32,296,253,020	18,068	24,245	134.19
		歯 科	357,916	605,846	5,159,235,300	14,415	3,873	26.87
	小 計	2,210,607	4,541,069	81,780,258,050	36,994	61,394	165.95	
	調 剤	1,382,550	1,713,187	17,641,873,630	12,760	13,244		
	訪 問 看 護	11,205	117,218	1,609,030,035	143,599	1,208		
	食事療養費	61,069	2,374,022	1,685,241,908	27,596	1,265		
	合 計	3,604,362	4,658,287	102,716,403,623	28,498	77,111		

※件数の合計に食事療養費は含まない ※日数の合計に調剤・食事療養費は含まない

介護給付費の状況

（令和6年8月審査分）

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪 問 通 所 サ ー ビ ス	449,524	21,595,511,611	19,046,259,686	1,993,242,248	556,009,677
短 期 入 所 サ ー ビ ス	19,138	2,138,121,068	1,813,011,213	313,237,934	11,871,921
居 宅 療 養 管 理 指 導	218,730	1,858,968,560	1,633,908,382	172,130,109	52,930,069
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス	75,161	11,285,467,219	9,986,467,041	1,087,371,997	211,628,181
特定施設入居者生活介護	27,184	6,566,586,881	5,698,689,569	839,276,533	28,620,779
居 宅 介 護 支 援	242,965	3,428,207,840	3,428,207,840	0	29,764,373
施 設 サ ー ビ ス	58,727	21,966,340,516	18,539,696,517	3,265,889,161	160,754,838
市 町 村 特 別 給 付	64	390,290	351,261	39,029	0
合 計	1,091,493	68,839,593,985	60,146,591,509	7,671,187,011	1,051,579,838

（令和6年9月審査分）

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪 問 通 所 サ ー ビ ス	446,262	21,072,830,183	18,591,010,423	1,933,758,219	548,061,541
短 期 入 所 サ ー ビ ス	19,306	2,157,873,050	1,832,053,278	314,209,013	11,610,759
居 宅 療 養 管 理 指 導	215,954	1,814,483,480	1,594,752,463	167,358,516	52,372,501
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス	73,677	10,976,453,361	9,715,879,527	1,050,123,481	210,450,353
特定施設入居者生活介護	26,746	6,458,144,071	5,604,189,444	821,013,982	32,940,645
居 宅 介 護 支 援	242,812	3,432,285,257	3,432,285,257	0	29,577,085
施 設 サ ー ビ ス	56,742	21,259,304,180	17,945,232,774	3,168,915,909	145,155,497
市 町 村 特 別 給 付	39	249,260	224,334	24,926	0
合 計	1,081,538	67,171,622,842	58,715,627,500	7,455,404,046	1,030,168,381

（令和6年10月審査分）

種 類	件 数 (件)	費 用 額 (円)	介護給付費 (円)	利用者負担額 (円)	公費負担額 (円)
訪 問 通 所 サ ー ビ ス	452,536	20,816,765,054	18,347,549,966	1,937,590,392	531,624,696
短 期 入 所 サ ー ビ ス	19,512	2,162,736,905	1,832,399,195	318,879,959	11,457,751
居 宅 療 養 管 理 指 導	222,236	1,866,942,510	1,639,890,148	174,188,527	52,863,835
地 域 密 着 型 サ ー ビ ス	74,650	10,901,906,243	9,639,616,433	1,063,739,604	198,550,206
特定施設入居者生活介護	27,139	6,364,127,067	5,515,621,538	818,987,699	29,517,830
居 宅 介 護 支 援	245,110	3,459,336,170	3,459,336,170	0	29,928,329
施 設 サ ー ビ ス	59,243	21,608,219,672	18,196,283,296	3,260,010,181	151,926,195
市 町 村 特 別 給 付	57	354,110	318,699	35,411	0
合 計	1,100,483	67,180,387,731	58,631,015,445	7,573,431,773	1,005,868,842



第2回神奈川県在宅保健師会「いちようの会」
役員会



10月

15日	12日	12日	11日	8日	5日		29日	28日	24日	23日	22日	19日	18日	17日	15日	15日	8日	1日
国保制度改善強化全国大会	介護サービス苦情処理委員会	中間監査	保険者事務電算共同処理委員会	運営協議会	介護サービス苦情処理委員会		介護サービス苦情処理委員会	介護保険部会	関東甲信静地区国保診療施設協議会(ホテルメトロポリタン長野)	介護給付費等審査委員会	介護サービス苦情処理委員会	診療報酬審査委員会(〜24日)	柔道整復施術療養費審査委員会	療養費審査委員会	第2回神奈川県在宅保健師会「いちようの会」役員会	介護サービス苦情処理委員会	介護サービス苦情処理委員会	介護サービス苦情処理委員会
(砂防会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)		(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)	(国保会館)



理事会



国保制度改善強化全国大会



保険者事務電算共同処理委員会



運営協議会



関東甲信静地区国保診療施設協議会

12月

11月

24日	介護サービス苦情処理委員会	(国保会館)
19日	介護給付費等審査委員会	(国保会館)
18日	診療報酬審査委員会(23日)	(国保会館)
18日	療養費審査委員会	(国保会館)
17日	介護サービス苦情処理委員会	(国保会館)
17日	柔道整復施術療養費審査委員会	(国保会館)
12日	保険料(税)徴収実務初任者研修会(職員キャリア開発支援センター)	(国保会館)
10日	介護サービス苦情処理委員会	(国保会館)
3日	介護サービス苦情処理委員会	(国保会館)
27日	定例検査	(国保会館)
26日	介護サービス苦情処理委員会	(国保会館)
23日	健康チャレンジフェアかながわ2024(クイーンズスクエア)	(国保会館)
21日	介護給付費等審査委員会	(国保会館)
20日	診療報酬審査委員会(25日)	(国保会館)
19日	介護サービス苦情処理委員会	(国保会館)
19日	療養費審査委員会	(国保会館)
19日	理事会	(国保会館)
18日	柔道整復施術療養費審査委員会	(国保会館)



保険料(税)徴収実務初任者研修会

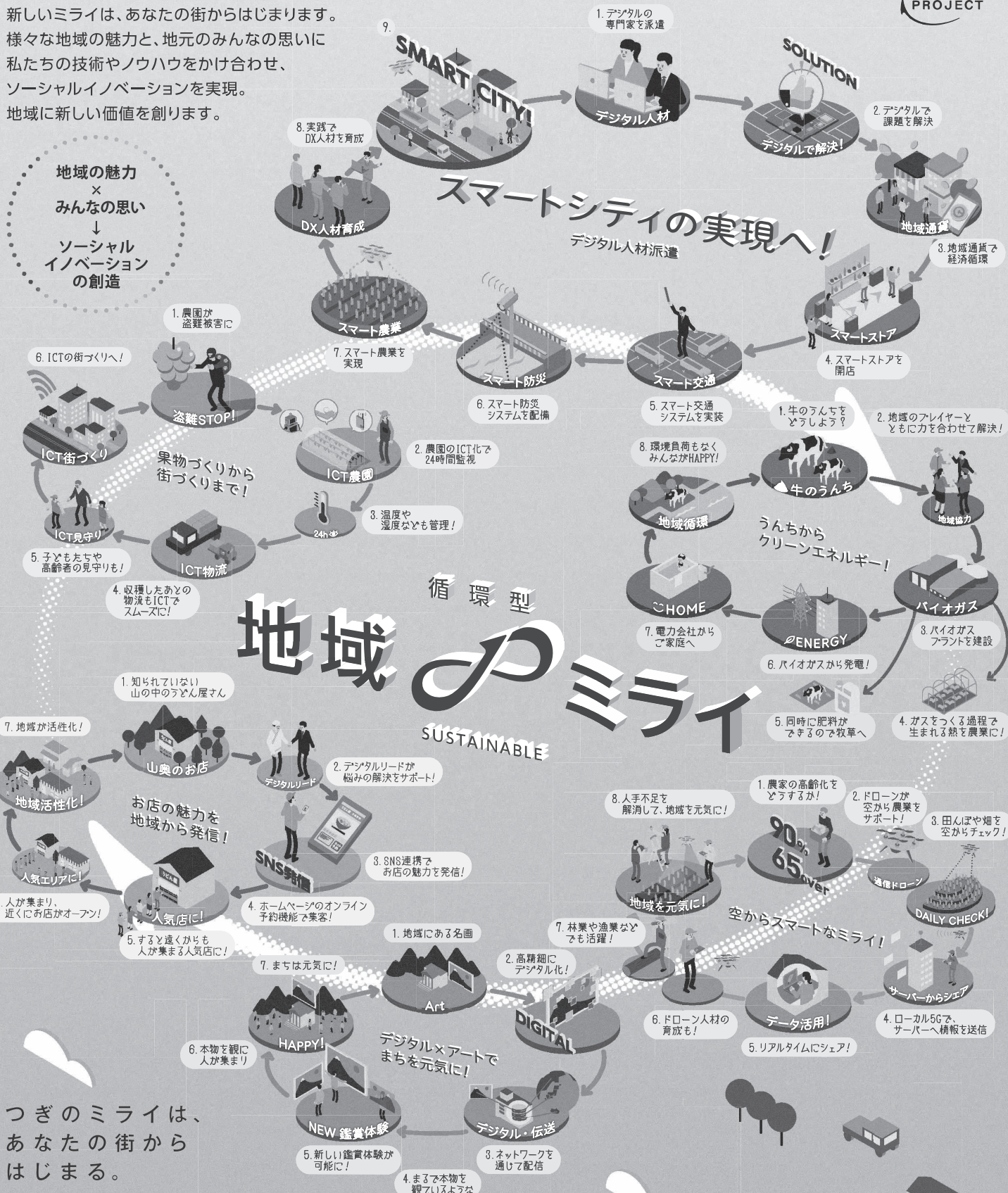


健康チャレンジフェアかながわ2024

ミライってどこからくるんだろう？

新しいミライは、あなたの街からはじまります。
様々な地域の魅力と、地元の人々の思いに
私たちの技術やノウハウをかけ合わせ、
ソーシャルイノベーションを実現。
地域に新しい価値を創ります。

地域から
ミライをつくる
PROJECT



つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

NTT東日本グループ

NTT東日本 NTTe-MOI NTRRisk Manager NTRDXパートナー NTRTe-Drone Technology NTRArt Technology Biostock nextmode NTRTe-Sports

NTTアグリテクノロジー NTT印刷 NTT東日本サービス NTT東日本プロパティーズ NTTTC NTTBP TelWel NTTグループ デジタル日本アイビーエス TelWel NTTグループ デジタル日本 NTTME NTTタウンページ

NTTスポーツコミュニティ(株) NTRTe-Asia ISS NTRネクシア NTRTREC NTRT-ROLK NTR 日本テレマティーク株式会社 NTRカードソリューション 日本空港無線サービス株式会社

Create a future with you



事務所や机を
占領する書類を
電子化
しませんか？

ペーパーレスから始めるDX SatuSCAN

Excel形式の
一覧から
該当データを
検索できます



終了 PDF表示 印刷

契約番号	契約区分	契約名称	契約先名称	担当者	締結日	終了日
22040001	リース	セキュリティソフト50ライセンス	〇〇商事	鈴木	2022/4/1	2022/4/30
22040002	売買	ホームページ年間保守	△△物産	田中	2022/4/1	2022/6/30
22040003	派遣	△〇システム保守業務	△△物産	田中	2022/4/1	2022/9/30
22040004	派遣	△〇システム保守業務	△△物産	田中	2022/4/1	2022/9/30
22040005	請負	ECサイト構築	〇△食品	佐藤	2022/4/1	2022/3/31
22040006	派遣	〇〇システム開発業務	□□工業			
22040007	派遣	〇〇システム開発業務	□□工業			
22040008	派遣	〇〇システム開発業務	□□工業			
22040009	リース	業務用ノートパソコン 30台	□□工業			
22040010	派遣	〇〇システム開発業務	□□工業			
22040011	派遣	〇〇システム開発業務	□□工業			
22040012	請負	□□WEBシステム開発業務	□□工業			



 株式会社 **横浜電算**

<https://yokohamadensan.com/>

横浜市西区楠町4番地7 横浜楠町ビル8階

TEL:045-311-7581

ビジネスソリューション部

E-MAIL: eigyou@yokohamadensan.co.jp



REGISTERED ORGANIZATION
No.1326-ISO/IEC 27001 No.4471-ISO 9001

今後の予定

1月	15日	徴収実務管理者研修	職員キャリア開発支援センター(神奈川県共催)
	20日	保険料(税) 収納実務中堅者研修	職員キャリア開発支援センター(神奈川県共催)
	21日	広報委員会	ハイブリッド開催
	24日	神奈川県国保診療施設運営連絡協議会・診療施設部会	神奈川県国保会館
2月	4日	運営協議会	神奈川県国保会館
	19日	理事会	神奈川県国保会館
	21日	神奈川県国民健康保険運営協議会会長等協議研修	ハイブリッド開催
	28日	通常総会	神奈川県国保会館

伝言板

健康劇 (健康まつり事業等支援事業)

本会では、保険者を支援する保健事業として健康劇(健康まつり事業等支援事業)があります。神奈川県在宅保健師会「いちょうの会」の“いちょう座”が上演しており、住民の方々に寸劇をとおして健康教育を行うことを目的としております。シナリオは、全6作品です。興味のある保険者は本会保健事業課までお問い合わせください。

シナリオ

1. 演目:「家族みんなで骨元氣!」(骨粗しょう症)
2. 演目:「あなたの血管、元氣?」(動脈硬化)
3. 演目:「特定健診、受けて知ろう自分のからだ
— 転ばぬ先の健康チェック! —
①主婦編 ②自営業の主人編 ③子育て中のママ編
4. 演目:「糖尿病予備群。脱出、成功!!」(糖尿病)

※詳しくは「いちょうの会」ホームページをご覧ください



特定健診、受けて知ろう自分のからだ
— 転ばぬ先の健康チェック! —

お問い合わせ先 保健事業課 保健事業係 TEL 045-329-3462(直通)

編集後記

北海道帯広市にある帯広競馬場で開催している「ばんえい競馬」(世界で唯一ここだけで開催)を観戦するツアーに行ってきました。

「ばんえい競馬」とは、平地競走馬のレースとは違い、コースは直線200mでコース内に上下坂道の障害物が2つあり、フルゲートで10頭のばん馬が競い合うレースです。ばん馬の体重は1tを超え、重りをのせた鉄そり(480kgから1t前後)に騎手が乗り、単にスピードを競うだけではなく、パワー・持久力も競い合うため、とっても迫力があります。

レース前はパドックに行き、ばん馬を近くで観察し馬券を購入。一番見応えがあるゴール直前の2つ目の障害物(高さ1・6m、長さ16mの勾配がきつい坂道)からゴール近くで観戦しました。

レースが始まりました。障害物では重い鉄そりを引いているため、なかなか登れず苦戦している様子、必死なばん馬の姿に観客みんなで声援しました。

結果、珍しく購入したばん馬が一番にゴールしたレースがありうれしかった反面、一番人気のばん馬を購入したレースは、パドックでも気合が入っており、勝手に一番人気だし当たる!!なんて期待していたら、まさか!!障害物を登っている途中で止まり、そのまま動かずレースが終了。そのばん馬を推している人たちのがっかりする声が各方面から聞こえてきました。(私もその一人です。)

3レースを観戦し、すべて一番人気のばん馬は1着ではありませんでした。(ほんと予想が難しい)ゴールするまでハラハラ・ドキドキ、世界で唯一の貴重なレース「ばんえい競馬」を観戦に行っていた良かったです。そして機会があればまた行きたいです。

健康測定機器等の貸出のご案内

本会では国保保険者の皆さまを対象に(※)健康測定機器等の貸出事業を無償でおこなっております。健康まつり、健康教育等の機会では是非ご活用ください。

※国保主管課及び健康づくり主管課のみ対象です。

今回ご紹介する機器は「一酸化炭素濃度測定器」

タバコの煙に含まれる200種類の有害物質の一つである一酸化炭素をどのくらい体内に取り込んでいるか濃度測定します。

今回体験するのは、
毎日たばこを吸っている
本会職員のM・Kさん！



測定

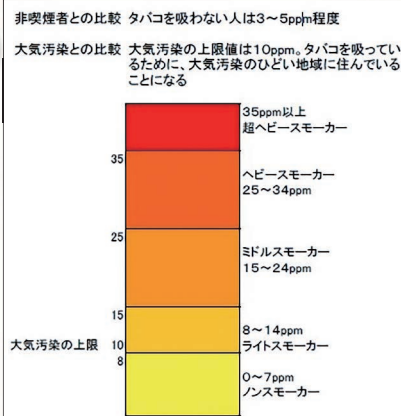


ふうっ

マウスピースを
しっかりとくわ
え、息を約20秒
間ゆっくり吐き
ます。

測定結果の見方

「ノンスモーカー」から、
「超ヘビースモーカー」まで
5段階に判定



●体験者の感想●

これをきっかけに、
たばこの本数を
意識してみます。

結果

8ppm

ライトスモーカー



●お申し込み●

国保連合会ホームページ『国保保険者のみなさまへ』から「健康測定機器等の貸出状況」で空き状況を確認し、国保連合会保健事業係に電話で仮予約をおこなってください。

※貸出は6カ月前から仮予約できます。(『国保保険者のみなさまへ』にはID・パスワードが必要です)

ホームページアドレス <https://www.kanagawa-kokuho.or.jp>

▶ 検索



●お問い合わせ先●

保健事業課 保健事業係 045-329-3462 (直通)

Eメールアドレス hoken@kanagawa-kokuho.or.jp



住民向け啓発冊子のご案内

令和7年度のご事業に

●マイナ保険証の利用促進に

932061 **新刊**

**マイナ保険証の本格利用が
始まっています!**



■A4判/4頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

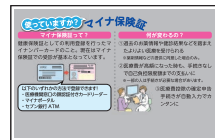
マイナンバーカードケース ジェネリック医薬品利用勸奨記事付

■ダイオキシシン対応/ポリプロピレン素材 ■90mm×60mm

本体 各48円+税

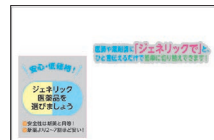
934031 **新製品**

〈マイナ保険証版〉



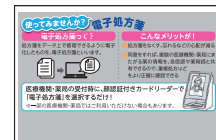
933021

〈スタンダード版〉



934011

〈電子処方箋版〉



●特定健診の受診勧奨に

503005 **新刊**

40歳～74歳の皆様へ
がんばるカラダの応援団
特定健診を受けましょう!



■A4判/4頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

509201 **新刊**

508079 **新刊**

必ず受けよう
特定健診



■B6変型判/8頁カラー/
リーフレット

本体 各36円+税

503053 **新刊**

未受診の皆様へ
まだ間に合います!
特定健診を受けましょう



■B6変型判/8頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

●後期高齢者健診の受診勧奨に

508005 **新刊**

75歳以上の皆さま!
健康診査のご案内です



■A4判/4頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

508086

75歳以上の皆様へ
受けましょう! 健康診査

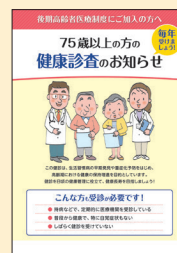


■A4判/4頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

508027

後期高齢者医療制度にご加入の方へ
75歳以上の方の健康診査のお知らせ



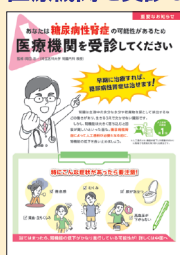
■A4判/4頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

●重症化予防・医療費適正化に

312001 **新刊**

あなたは糖尿病性腎症の可能性があるため
医療機関を受診してください



■A4判/4頁カラー/
リーフレット
■監修 岡田浩一
(埼玉医科大学
腎臓内科 教授)

本体 36円+税

824021

よくある誤解を解消!
医療費節約ガイド



■A4判/4頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

407171 **新刊**

医療機関にかかる前に知っておきたい
子どもの上手な医療のかかり方



■A4判/4頁カラー/
リーフレット

本体 36円+税

子ども
医療費適正化
対策

●一部製品の定価を見直し値下げを実施中です(□で表示)。各種事業にご活用ください。※ご検討のため見本をご希望の際は、お気軽にご連絡ください。無償で送付いたします(原則1部)。

お問い合わせ



株式会社

社会保険出版社

https://www.shaho-net.co.jp

TEL 03(3291)9841

東京都千代田区神田猿楽町1-5-18 〒101-0064



健康経営優良法人
Health and productivity